

団体名		公益財団法人 武蔵野市国際交流協会			
① 事業	指標名	在住外国人支援事業への外国人参加促進		目標値	日本語学習の支援、多言語による各種相談、留学生の社会参加の促進等の外国人参加者拡大に努める。(対前年度増)
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 人)	—	—	941	MIA外国人支援事業にかかる外国人の延べ参加者数。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し		
設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 ・在住外国人支援事業の参加者のうち、外国人の参加者数を指標とする。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・日本語学習の支援、多言語による各種相談、留学生の社会参加の促進などへの外国人参加者を増やす。				
② 財務	指標名	流動比率の適正化		目標値	流動比率の適正化に努める。(200%程度に近づける)
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: %)	193.7	466.4	372.5	平成28年度決算で東京都から指摘されている。
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(1) 経営健全性の確保		
設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 ・「武蔵野市財政援助出資団体现在方検討委員会報告書(平成26年5月)」の72ページ、74ページに記載されているとおり、流動比率が高いことで必要以上のストックを生じている。また東京都の立ち入り検査でも公益目的事業がいわゆる「収支相償」を超えた剰余金を生じていることから流動比率の適正化を指標とする。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・毎年の予算編成及び各事業の予算執行において、収支バランスが均衡するようチェックを行う。				
③ 内部管理	指標名	MIA事業へのボランティアの参加促進		目標値	MIAの事業活動に欠かせないボランティアの拡大に努める。(対前年度増)
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明)
	(単位: 人)	—	—	353	語学ボランティア(54)、日本語交流員(155)、留学生むさしのファミリー(144)の合計
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目		(6) 組織・職員数等の適正化と目的・目標達成に向けた効率的運営の推進		
設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 ・職員は主にコーディネーターとしての役割を果たし、MIAの行う多くの事業はボランティア(基本的にMIA会員)が中心となって実施している。ボランティアは限られた職員では対応できない多くの部分を担っており、今後も充実した内容の事業を効率的に行うためには、市民をはじめとする多様な人材の活用を推進し、より広い分野に精通した知識を有する意欲あるボランティアの拡大を図る。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・MIA事業にかかわるボランティアの数を増やす。				